

目標達成計画

事業所名：グループホーム幸豊ハイツ ほのぼの

作成日：平成 28 年 5 月 20 日

市町村受理日：平成 28 年 6 月 8 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	48	現状、入居されている方の年齢・ADLを考える中で、以前に比べ行動・活動内容が減少・狭まっている感が見受けられる。体調や内容に留意しながら、あくまで出来る事、個々の役割を担っていただく他、四季を通じての楽しみを演出していきたい。	個々の残存機能の把握をした上で無理無く意欲や目標をもった生活を営んでいただける様に個人の生活に特化した時間割に加えてグループホームほのぼのの全体で取り組める事(園芸・作物・外出・家族との関わり)を1年を通して取り組んでいく。	起床からご自分で可能な事及び食事の準備や後片付け、清掃等の可能な部分の見極めを行い、又、四季を通じて、畑仕事に携わったり、地域の観光地に出かける事で新たな景色を見る機会を持っていただく。	1年
2	52	隣接のグループホームほのぼのⅡは建物の経年劣化に伴い休止となった現状を踏まえ、平成9年開設で来年20年目を迎える当事業所においても改めて安全に過ごしていただく為の建物及び設備点検の実施と共有スペースの家具・調度品について確認をしていく事が求められる。	建物・設備・調度品の定期的な点検だけではなく、不備を発見した際の、補修についても早急に行うことを確認する。その上で安心・安全に過ごしていただける環境整備について「認知症高齢者の為の環境評価指針(PEAP)」を活用し3ヶ月毎の評価を行っていく。	1ヵ月毎の定期点検を行った上でリビングの設えを撮影する「キャプション評価」を行い入居者を含めた多様な視点で判断していく。	6ヶ月
3	53	上記内容にも重複するが、各居室においても同様の確認が必要な事に加え、個々のADLや過去の居室内で発生したひやりはっこの内容も踏まえ安全・安心に過ごしていただく為の対応が必要である。	ベッドや調度品の設えや夜間、トイレ通所等で起きた際に安全に動ける様にシミュレーションを行うと同時に環境整備について「認知症高齢者の為の環境評価指針(PEAP)」を活用し3ヶ月毎の評価を行っていく。	各居室担当者が3ヶ月毎に「キャプション評価」を行い入居者を含めた多様な視点で判断していく。	6ヶ月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。